

4 . 大阪法務局 北大阪支局

Osaka Legal Affairs Bureau

周辺地域への配慮と
グリーン化技術を導入した舎

所在地：大阪府茨木市中村町1-35
設計期間：基本設計2001年1月～2001年3月
実施設計2001年7月～2002年1月
工事期間：2002年2月～2003年3月
竣工：2003年3月
建築主：法務省大阪法務局
発注者：国土交通省近畿地方整備局営繕部
設計監修：国土交通省近畿地方整備局営繕部
設計者：日建設計
監理者：国土交通省近畿地方整備局営繕部・監督室、
小西設計
施工者：建築 リンかい日産建設
電気 四電工
空調・衛生 ダイキンプラント
面積：3,155.81㎡（敷地） / 3,742.57㎡（延面積）
構造・階数：RC造、4階

環境配慮計画検討体制

設計プロポーザルにおいて、グリーン庁舎を目指した提案を行った。設計中は、設備設計室を中心に意匠設計も含めた検討体制を構築した。グリーン化技術の採用は、発注者が最終決定を行った。

環境配慮計画に関する特記事項

事業計画や予算に、グリーン庁舎への対応を盛り込んだ。



(写真:特記以外すべてエスエス大阪)

低層の住宅が立ち並び立地条件に配慮し、階高を抑え隣地に近接する西側壁面をセットバックさせ圧迫感の少ないシルエットにすると共に、事務室窓にルーバーを設け、プライバシー確保にも配慮した。

事務室に面する吹き抜けは2階から4階まであり、その上部に設けた「風の塔」のハイサイドライトにより、自然採光と通風の積極的利用を図っている。また、窓のルーバーにより近隣への自然遮蔽を行うと共に、日射遮蔽を行い空調負荷を抑制し、省エネルギー化に役立っている。
(高橋直樹/日建設計)



建物断面構成図

ルーバー

窓のルーバーにより、近隣への自然遮蔽を行うと共に、日射遮蔽を行い空調負荷を抑制し、省エネルギー化に役立っている。



外観

風の塔

事務室に面した吹き抜けは2階から4階まであり、その上部に設けた「風の塔」のハイサイドライトにより、自然採光と通風の積極的利用を図っている。

南北2ヶ所に設けた「風の塔」では、センサーや風力計により室温、外気温、風向きを感知し、自動的に頂部窓を開閉して自然換気を行う。



風の塔 見上げ
(写真提供: 日建設計)



吹き抜けに面する階段



待合 吹き抜け